

ハローワーク求人票で応募率アップ！

パートタイム
編

求職者のニーズや関心を知り、その期待に応える求人票こそ、採用成功のカギ

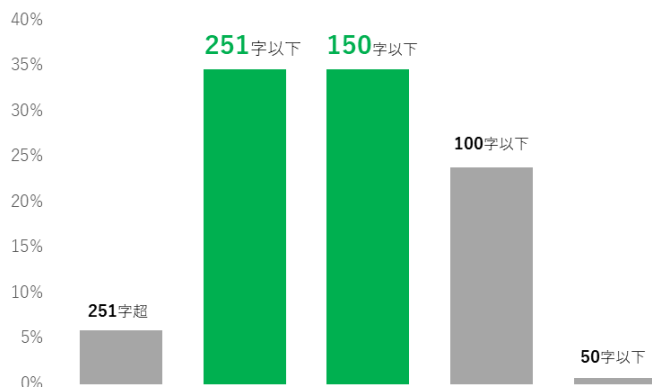
応募が集まる求人には、**求職者が応募しやすい条件（応募率）**が存在します。求職者が無意識に求める期待やイメージに応え、必要な情報をわかりやすく届けること。それこそが応募につながり、採用成功の第一歩となるでしょう。本リーフレットでは、応募のあった求人票（パートタイム）の特徴を「応募率」に着目して項目ごとに整理しました。**ぜひ、求人票の記載や労働条件の見直し等にご活用ください！**

ポイント1 求人票の項目ごとに、応募につながる条件を確認しましょう！

1 仕事内容欄に記載された文字数

仕事内容欄は余白を意識して具体的に記載

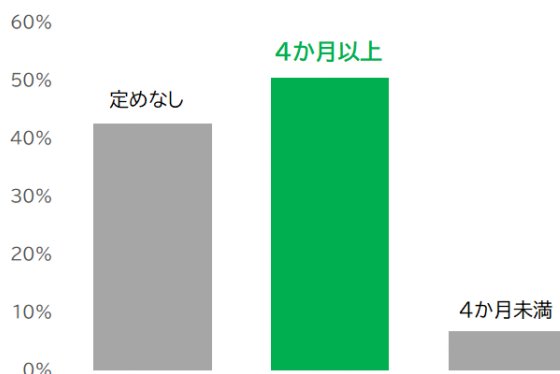
200～250文字を目安に、改行（Shift+Enter）を使い、求職者が自分の働いている姿がイメージできるような記載が大切。50文字以下の応募率は0.7%。



2 雇用期間の定めに関する項目

期間の定めがある場合、期間をできるかぎり長く

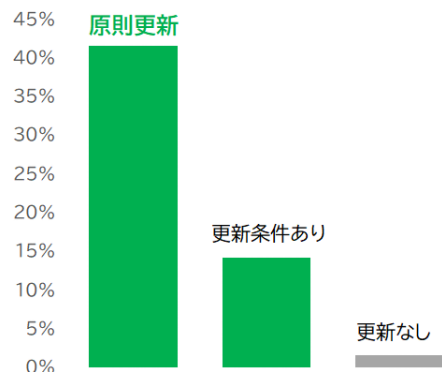
6か月～1年の雇用契約期間を設定している場合が多いですが、「期間の定めなし」に緩和することで、同業他社との差別化が図れます。



3 契約期間の更新に関する項目

できるだけ長く安定して働ける求人に応募が集中

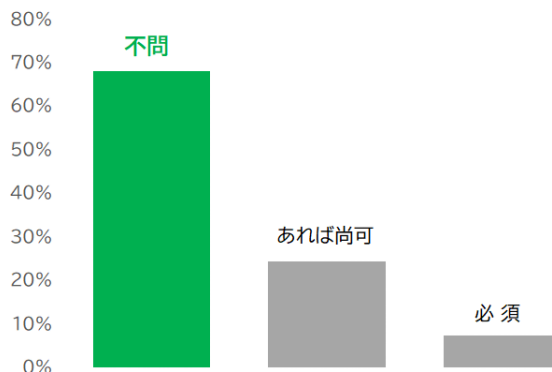
求職者のニーズに応え、雇用契約期間を「更新条件あり」から「原則更新」に緩和することで、応募の可能性が高まります。



4 業務上必要な経験等

経験職種く「いまできること」を選択する傾向

「経験不問」の求人への応募が約7割を占めます。本当に経験が必須の場合を除き「あれば尚可」よりも「不問」にまで条件を緩和することが有効です。



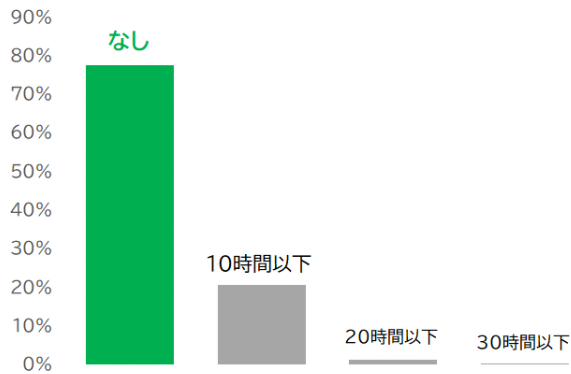
5

時間外労働に関する項目



時間外労働が10時間以下の求人しか応募がない

時間外労働10時間以下で応募率98%です。時間給がほぼ同じの場合、時間外労働が「なし」の求人を優先して応募する傾向があります。



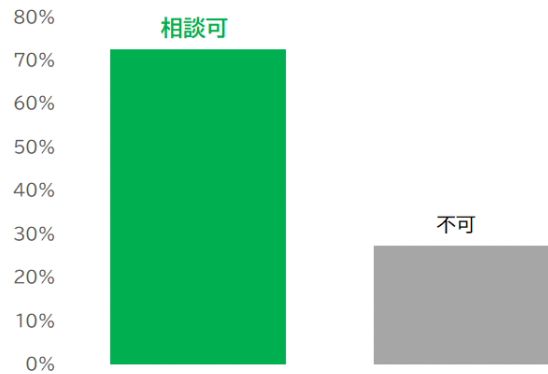
6

労働日数の相談に関する項目



労働日数や休日の条件優先度が高い

労働日数や休日が「応相談」の場合、応募が集中する傾向があります。「家庭や子育てとの両立」可能な求人は、特に求職者のニーズが高いといえます。



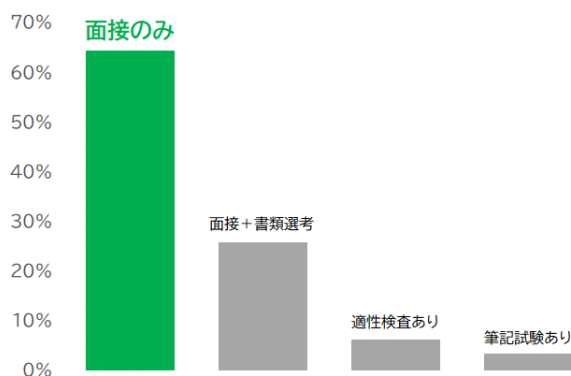
7

選考方法に関する項目



面接のみの求人に応募が集中

パートタイムを希望する求職者は、書類選考がある求人を敬遠する傾向があります。合理的な理由がある場合を除き、条件緩和のポイントになります。



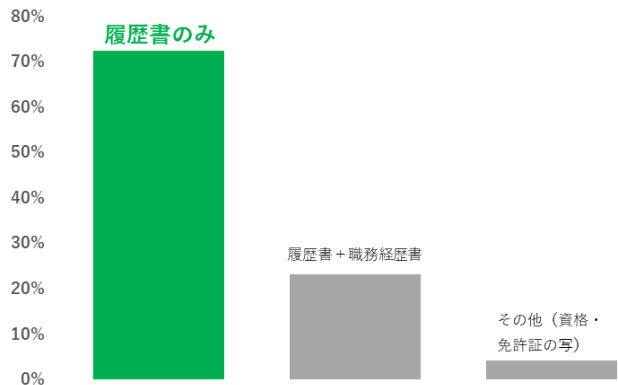
8

応募書類に関する項目



履歴書のみが7割を超える

「面接のみ+履歴書のみ」の求人を優先して応募する傾向がはっきりしています。職務経歴書を不要又は任意提出とすれば、応募のハードルは下がります。



ハローワークにご相談ください / 応募につながる求人の書き方をサポート



貴社の求人募集が多くの方の目にとまり、応募につながりやすい内容にブラッシュアップ！ ぜひお気軽にご相談ください！

- 求人条件の見直しは求人者マイページからいつでも可能
- 2名以上の募集であれば、「経験必須」の求人と「不問」の求人に分割することもできます
- 就職相談会を随時開催、求人者と求職者の出会いの場を提供いたします



お問い合わせ先

TEL 054-628-5155 (部門コード: 32#)

担当 ハローワーク焼津 求人・専門援助部門 / 求人担当



焼津所260518 求12